

# 都市型農業を普及せよ

答 推奨していきたい



大宜見 洋文 議員



都市型農業に関する予算措置(農林水産省)

**問** 持続可能な開発目標に向けて、本町はどう取り組むか。  
**町長** みどりの食料システム戦略の化学肥料、農薬の低減に向けて段階的な取り組みが必要で、農業改良普及センターと農業関係団体と連携して取り組む。

**問** 都市型農業とは何か。  
**町長** 市街地や周辺地域で行われる農業である。消費地に近い利点を生かし新鮮な農産物の提供や農業体験の場の提

供、災害に備えたオープンスペースの確保、安らぎや潤いといった緑地空間の提供など、多様な役割を果たす。

**問** 都市型農業、本町に合う農業と考え提案した。答弁内容からも非常に有効で、町民同士がコミュニケーションを交わし、つながる効果も生まれてくると思う。町内で都市型農業を普及させる考えはないか。  
**町長** 農家の皆さんを支える農業振興に努めていきたい。

**問** シェア畑や市民農園で小さく借り始めて、ステップアップして大きく借り、さらに農業をしたいという人が出てきている。地域の連携をつなぐこともできる、総合的施策につなげられないか。  
**町長** 地域づくりから農家に行くもよいと考える。そのようなケースがあればどんどん推奨していきたい。

## 放課後児童クラブの待機児童を問う

**問** 次年度の待機児童の予測はどうか。  
**町長** 令和6年1月4日から18日の期間での申込状況を踏まえて待機児童の有無が分かる。

**問** 津嘉山の学童から、NPO支援センターが提供しているデータを用いて次年度の待機児童は30名ほど出る予測結果だと聞いたがどうか。  
**町長** 数値の提供は受けているが、あくまでその学童自体の予測に基づくものである。学童クラブ全体の申込みを踏まえて待機児童が出るものと考えている。

**問** 来年の申し込み状況を踏まえて、待機児童が出た場合に対応を考えるとどうか。  
**町長** そう判断していく。